

エッセンシャル・ミクロ経済学

後期 金曜2時限

この授業について

担当者：加茂 知幸（かも ともゆき）

目的：ミクロ経済学の基本事項を講義

目標：①基礎概念と基本理論の習得

②現実の問題への応用

評価方法：期末試験（客観テスト）による

注意事項：出席はとらない

この授業について

授業の進め方・学習方法

- ①スライドと板書の併用
- ②練習問題を配布⇒各自で取り組む
注) 評価の対象としない(提出不要)
- ③教科書・参考文献の当該箇所を復習

この授業について

教科書：必ずしも購入する必要はない

N.G.マンキュー著

『マンキュー経済学Ⅰ ミクロ篇』（東洋経済）

参考書：以下、標準的なミクロ経済学のテキスト

J.E.スティグリッツ・C.E.ウォルシュ著

『スティグリッツ ミクロ経済学』（東洋経済）

奥野正寛著『ミクロ経済学』（東京大学出版会）

神取通宏著『ミクロ経済学の力』（日本評論社）

I.ギルボア著『合理的選択』（みすず書房）

第1回 経済学の考え方（1）

◇keyword

トレードオフ、機会費用、限界概念、埋没費用、
インセンティブ

◇教科書：第1章

◇参考文献

スティグリッツ：序章2節

意思決定の4大原理

1. 人々はトレードオフに直面している
2. あるものの費用は、それを得るために放棄したものの価値である
3. 合理的な人々は限界的な部分で考える
4. 人々はさまざまなインセンティブに反応する

問題：機会費用

- ① あるパン屋が懸賞で1週間の海外旅行に当選した。パン屋がこの旅行に行くことの費用は？
- ② 1990年代、バブル崩壊（地価下落）により東京の街中に空き地が目立っていた。一等地を空き地にしておくことの費用は？

映画『グッドウィルハンティング』より

"...but in 20 years, if you're livin' next door to me, comin' over, watching the fuckin' Patriots' game and still workin' construction, I'll fuckin' kill you."

"..., you got somethin' that none of us have."

"..., you're sittin' on a winning lottery ticket..."



問題：限界原理・埋没費用

あなたの経営している会社が新製品開発に500万円を投入したが、新製品がまだ完成していないとしよう。最近の会議で、競合製品が現れたので新製品の予想販売額が300万円に減少したという営業部門の報告があった。新製品の完成までにあと100万円かかる場合に、開発を継続すべきだろうか。また、新製品を完成させるのに最大いくらまでかけるべきだろうか。

問題：インセンティブ

雇用保険の給付金受給期間には上限が設けられている。

- a. この上限は、働くことへのインセンティブにどのような影響をもつだろうか
- b. この上限は、効率と衡平とのトレードオフにどのように関わっているのだろうか。